



このコースでは、くにたちのこのあたりを歩きます。



コース概略 JR南武線矢川駅から谷保地区の歴史建造物と周囲の杜を訪ねる散策コースです。

- みどころ**
- ・くにたち郷土文化館と常設展示室
 - ・青柳崖線（ハケ）の湧水とハケ下の散策路
 - ・萱萱（きやぶ）入り母屋造りの古民家
 - ・城山公園の散策と城山さとのいえ
 - ・谷保の城山の雑木林と野草群
 - ・府中用水と市民農園
 - ・「常盤の清水」と巖島神社・弁天池
 - ・滝の院（安楽寺の六坊の一つ）
 - ・仮屋上遺跡（説明板のみ）

距離 約3.3km/約3.5km

作成 ウォーキングマップづくりの会

発行・編集 国立市保健センター

※東京都健康づくり推進キャラクター「ケンコウデスカマン」



ちよっと実行、ずっと健康。

平成19年5月 初版発行
平成20年5月 第2版発行
平成22年5月 第3版発行
平成25年5月 第4版発行
平成28年4月 第5版発行
平成29年3月 彩色版発行
令和3年3月 彩色2版発行

ウォーキングポイント

<くにたち郷土文化館> 入館無料

施設の大部分が地階にある建物で、国立の地形や歴史、くらし、まちづくりについて資料が展示されています。特に常設展示室の映像解説は必見で、三つの崖線がつくり出す国立の地形の特色について判りやすく解説しています。縄文時代の住居地を再現した歴史庭園（中庭）や、武蔵野庭園、伝承庭園も趣があります。常設展示の緑川東遺跡から出土した4本の大型石棒は完全な形のまま並べられた状態で出土し、縄文時代の祭祀を考える上で学術的価値が極めて高いと評価され、国の重要文化財に指定されています。

（休館日/第2・第4木曜日、年末年始）

ハケの道と遊歩道

郷土文化館から城山下の古民家園へ向かう道は、青柳崖線に沿い、ハケ上の道はかつての甲州街道ルートの一つだったとも言われています。



ハケ下を湧水が流れ、以前は木道が設置されていましたが、城山南地区計画により、ヤクルト研究所の外周をめぐる遊歩道として整備されました。北側にはハケ下の湧水路、南側には府中用水、東側には体験水田への導水路が設けられ、ハケの湧水、府中用水、古民家、城山公園などを繋ぐ一周700mの遊歩道です。

古民家（旧柳澤家住宅）

江戸時代後期、甲州街道沿いの青柳地区に建てられた茅葺農家を移築復元したものです。当時の農家の様子が、庭の植栽を含めて忠実に再現されています。



（休館日/第2・第4木曜日、年末年始）

城山公園

城山に続くハケの下、自生した植物を中心とした、野鳥も多く飛来する



シジュウカラ

公園です。

城山さとのいえ

隣接する農地での農業体験や、くにたち野菜を使った料理講座、地元農家による直売、農に関する情報発信やイベントなど、農ある暮らしの楽しさや豊かさが味わえる施設です。

（休館日/第2・4木曜日）

谷保の城山 都指定旧跡（三田氏館跡）

東京都歴史環境保全地域に指定された中世の居館跡で、全体が雑木林で覆われ保護されています。神明宮を含めてぐるりとひと巡りするのいいですね。春にはニリンソウ、夏にはキツネノカミソリの群生が見られます。



常盤の清水

谷保天満宮の境内の湧水で、南側には弁天池と弁財天を祀った巖島神社があります。弁天池では亀と錦鯉がゆったりとした時間を演出し、あじさい園が隣接しています。ママ下湧水と共に東京の名湧水57選の一つに選ばれています。※写真は弁天池です。



滝の院

もとは「滝の坊」と言い、谷保天満宮の別当寺・安楽寺の六坊の一つでした。甲州街道側に細い階段の入口があります。



☆このコースは、《No.4 矢川の清流とママ下湧水が出会う道》の後編とも言えます。くにたち郷土文化館を接続地点とすれば全行程6kmのコースとなります。

☆コースの歩き方でお勧めしたいのが、たまには逆に歩く方法です。新しい発見があり、2度楽しめます。

特に谷保の城山は、谷保天満宮の方から歩くと「まさに城山だ！」と感動するほどの景色ですよ。時々立ち止まって振り返ってみるのいいですね。



キツネノカミソリ

健康ウォーキングマップ 活用法

ウォーキングは、「手軽にできる運動」です。その他にも、「景色を楽しむ」「地場野菜を知る」など、歩き方いろいろ。マップに感想などを書き込んで「マイマップを作る」のもいいですね。

ウォーキングを行う上での注意点

準備運動

けが予防のために、ウォーキング前に足首や膝を軽く動かし、アキレス腱・ふくらはぎ・太ももを伸ばしましょう。

水分補給

水やスポーツドリンクなどでこまめに水分補給を行いましょう。ウォーキング前にコップ一杯分の水分補給もお勧めです。

歩くことで活動量を増やすヒント

できるだけ階段を

日々の階段の昇降は、絶好のチャンス！エレベーター等ではなく、階段を利用しましょう。

歩数計の携帯を

ちょっとそこまでの距離であれば、できるだけ車を使わず歩いていくことで、活動量を増やすことができます。また、歩数計を携帯し、歩数を記録することも励みになります。

こころの健康 ～セルフケア～

こころの健康には、毎日の生活習慣を規則正しく整えることが大切です。「バランスの取れた食事」、「質の良い睡眠」、「適度な運動の継続」が基本となります。



また、ストレスを溜めないように、日常生活の中で意識してリラックスできる時間を持つことも大切です。ストレス発散には、好きな音楽を聴いたり、歌を歌ったり、ウォーキングなどの運動をしたりと人それぞれですが、より充実した日々を過ごすために、自分にあった方法を見つけ、セルフケアに努めましょう。

ちなみに、有酸素運動であるウォーキングには脳内神経伝達物質であるセロトニン（良質の睡眠やこころの安定に深く関連）の分泌を促す効果があります。こころとからだのバランスを保ち、充実した日々を過ごすために、「くにたち健康ウォーキングマップ」を使って *Let's walk !!*



このマップに関するお問い合わせ
健康増進課保健センター
☎042-572-6111

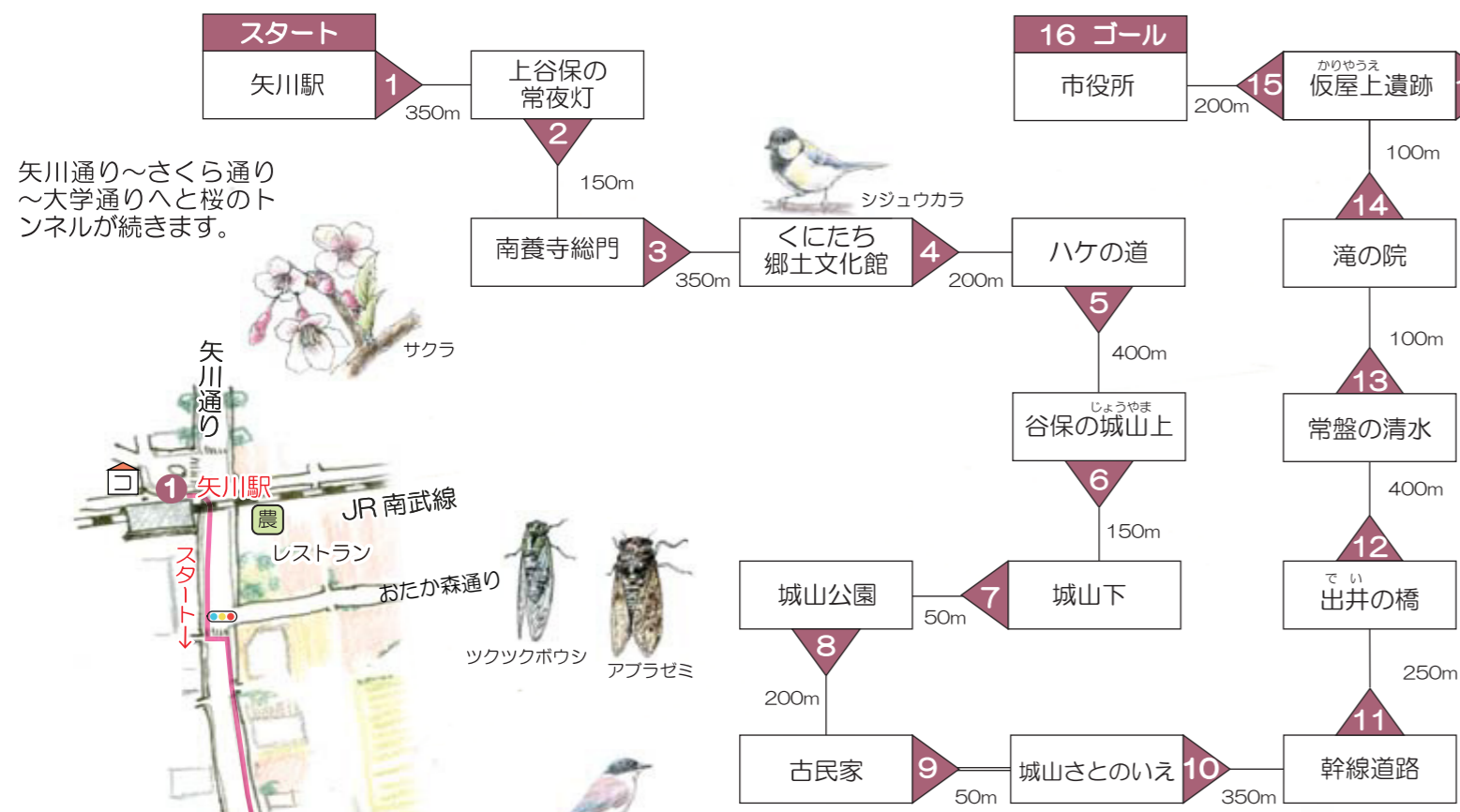
5 谷保地区の歴史を訪ねて



No.5 谷保地区の歴史を訪ねて

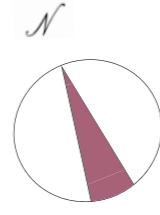
距離：約3.3/約3.5km 時間：約50分
 歩数：約4700/5000歩 消費kcal：約150kcal

※1歩=70cm、時速4km/h、ウォーキング10分=30kcalで算出。
 (60kg男性の場合)



矢川通り～さくら通り
 ～大学通りへと桜のトンネルが続きます。

青柳崖線
 国立に三つあるハケの内、一番低位置にあり、立川面の下に流石した青柳面と沖積地の境にある崖線。立川普濟寺から谷保天満宮まで延び連続にハケの緑を残し、谷保村の集落はこのハケ沿いに発達した。



矢川通り、矢川駅、JR南武線、レストラン、おたか森通り、ツクツクボウシ、アブラゼミ、オナガ、国立第一小学校、甲州街道、上谷保の常夜灯、南養寺参道、南養寺総門、南養寺、くにたち郷土文化館、ハケの道、谷保の城山上、城山公園、城山下、古民家、城山さとのいえ、幹線道路、出井の橋、常盤の清水、滝の院、仮屋上遺跡群、市役所、谷保駅、南武線通り、滝の院踏切、南武線、清水の茶屋跡、道路改修記念碑、地下道をくぐる、甲州街道、常盤の清水、谷保天満宮、谷保1号水源、逆さ川、ウメ、ナシ、梨園、天神橋、浄水公園、ザリガニ、丸城院跡、ナシ、谷保の城山上、城山公園、開神社、古民家、城山さとのいえ、城山下、北多摩川幹線道路、国立第三中学校、ヤクルト中央研究所、古民家、中央自動車道、ヤクルト中央研究所を巡る散策路、オйкаワ、ドジョウ、カワニナ、コクワガタ、ヘニシジミ、シジュウカラ、コクワガタ、ナシ、ウメ、ナシ、梨園、天神橋、浄水公園、ザリガニ、丸城院跡、ナシ、谷保の城山上、城山公園、開神社、古民家、城山さとのいえ、城山下、北多摩川幹線道路、国立第三中学校、ヤクルト中央研究所、古民家、中央自動車道、ヤクルト中央研究所を巡る散策路

国立第一小学校
 明治5年学校の設置が定められ、翌年「潤沢学舎」が甲州街道沿いの杉田氏宅の蚕室を学舎として開校しました。明治9年に谷保小学校と改称し、現在地には同16年に移転しました。



城山のニリンソウ
 4月中～末頃城山保全地区全体を白い花が覆います。旧盆頃のキツネノカミソリと共に城山を彩る花です。

仮屋上遺跡
 仮屋上遺跡は平安奈良時代の住居址です。「武蔵國多磨」「羊」と刻まれた石製紡錘車出土されました。

谷保天満宮の重要文化財



「木造狛犬一对」(鎌倉時代) 木造扁額「天満宮」



首を垂れる稲穂は、米どころ谷保田圃を今に伝えてくれます。



城山さとのいえ
 自然豊かな城山南地区に「城山さとのいえ」が2015年3月オープンしました。「古民家」に隣接し散歩の折の一休み場所として最適です。

凡例	
	信号
	お手洗い
	説明板
	郵便局
	農作物直売所
	コンビニ
	みちのサイン塔